

サプリメントに関する注意喚起

サプリメントに関連する アンチ・ドーピング規則違反は現在も発生しています

日本アンチ・ドーピング機構の資料によると、2015～2021年に国内で発生したアンチ・ドーピング規則違反のうち、**41%がサプリメントに関連**した事例でした。サプリメントによるドーピングのリスクが広く認識されるようになった現在も、国内ではサプリメントに起因するアンチ・ドーピング規則違反が発生しています。

また、国際オリンピック委員会が支援した過去の国際調査では、調査対象となった**サプリメント** 634 製品のうち 94 製品（**14.8%**）から、**ラベルに表示されていない禁止物質が検出**されました。

サプリメントには、ラベルに表示されていない**禁止物質が混入**している可能性があります。禁止物質が含まれていることを知らずに摂取した場合でも、ドーピング検査で禁止物質が検出されれば、アンチ・ドーピング規則違反に問われます。

世界アンチ・ドーピング規程では、アスリートはサプリメントの使用について自ら責任を負うものとされ、汚染されたサプリメントの使用を避けるために、**使用前に極めて高いレベルの注意を払うことが重要**とされています。世界水泳連盟の「栄養に関する読本」には、「賢明な選手はサプリメントの使用を決める前に、使用する正当な理由があるかを確認する（一部改変）」という記載があります。

サプリメントが本当に必要か、もう一度考えてみましょう

それでもサプリメントを使用する必要がある場合は、次のような信頼できる第三者認証・検査プログラムの対象となっている製品を選択してください。

- ・ Informed Sport / Informed Choice
- ・ BSCG Certified Drug Free
- ・ NSF Certified for Sport



認証を受けていないサプリメントの使用は控えることを強く推奨します

ただし、第三者認証・検査を受けた製品であっても、禁止物質が含まれていないことが**100%保証されるわけではありません**。使用する製品のロットが認証・検査の対象となっていることを確認しましょう。また、使用したサプリメントの**製品名とロット番号を記録**しておきましょう。